

注3

大学番号：私610

[平成24年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

認可

沖縄科学技術大学院大学 科学技術研究科 科学技術専攻

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人沖縄科学技術大学院大学学園

平成26年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況, 経費	12
4	既設大学等の状況	13
5	教員組織の状況	14
6	留意事項に対する履行状況等	25
7	その他全般的事項	28

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人沖縄科学技術大学院大学学園

(2) 大学名

沖縄科学技術大学院大学

(3) 大学の位置

〒904-0495

沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ジョナサン・ドーファン) Jonathan Dorfan (平成23年11月)		
学長	(ジョナサン・ドーファン) Jonathan Dorfan (平成23年11月)		
研究科長	(ジェフリー・ラッセル・ウィッケンス) Jeffery Russell Wickens (平成23年11月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は、平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称、定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
科学技術研究科 科学技術専攻 博士(学術)	5年	20人	100人	

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	-	20	-	20									1.35倍	平成24年9月より入学生受入開始のため、AC報告書は平成25年度より提出。
志願者数	()	(208)	()	(398)	()	()	()	()	()	()	()	()		
受験者数	()	(208)	()	(398)	()	()	()	()	()	()	()	()		
合格者数	()	(47)	()	(41)	()	()	()	()	()	()	()	()		
B 入学者数	()	(34)	()	(20)	()	()	()	()	()	()	()	()		
入学定員超過率 B/A	1.70		1.00											

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] -	[28] 33	[-] -	[15] 20	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[-] -	[28] 33	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次			/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
4年次	/				/		[]	[]	[]	[]	
5年次			/				/		/		[]
計	[28] 33	[43] 53			[]	[]					[]

- (注)
- ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成24年度入学者	34人	1人	平成24年度	1人	1人	家庭の事情(1人)	2.9%
			平成25年度	0人	0人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成25年度入学者	20人	0人	平成25年度	0人	0人		0%
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成26年度入学者			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度入学者			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度入学者			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
合計	54人	1人					1.9%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<科学技術研究科 科学技術専攻（博士一貫課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
Professional Development Courses プロフェッショナル・ディベロップメント科目	PD1 Professional Development I プロフェッショナル・ディベロップメントI	4① 1-2 ①② ③ 1~2 通	1			1						講義内容及び配当年次の見直しに伴い配当年次を変更(25) 担当 Jeffery Russell Wickens (教授) 平成24年8月 教員審査済 判定 D可 配当年次を変更(25)
	PD2 Professional Development II プロフェッショナル・ディベロップメントII	3・4・5 ①② ③	1			1						
	PD3 English for Higher Education in Science and Technology 大学院レベル科学技術英語	1-2 ①② ③			1	1						
	PD4 Essential Japanese for Foreign Researchers 外国人研究者のための必須 日本語	1-2 ①② ③			1	1						
	PD5 Laboratory Experience ラボ入門	1-2 ①② ③			1	1						
Basic Courses 基礎科目	B01 Chemistry 化学	4①		2			1				講義内容の見直しに伴い科目内容及び名称の変更(25) (B01 Chemistry 化学 → A208 Bioorganic Chemistry 生物有機化学) 担当 田中 富士枝(准教授) 平成24年8月 教員審査済 判定 D可	
	B02 Biology 生物学	1①		2			1					
	B03 Mathematics I 数学I	1①		2			1					
	B04 Mathematics II 数学II	1②		2			1					
	B05 Neurobiology 神経生物学	4② 1③		2		2				配当年次を変更(25)		
	B06 Cell Biology and Genetics 細胞生物学及び遺伝学	1②		2		1	1					
	B07 Statistical Methods 統計的手法	1③		2		1						
	B08 Physics for Life Sciences 生命科学のための物理学	4③ 1②		2			1			配当年次を変更(25)		
	B09 Learning and Behavior 学習・行動特論	4③ 1②		2		1				配当年次を変更(25)		
	B10 Analytical Mechanics 解析力学	4② 1①		2			1			教員の採用により担当教員 を変更(25) 担当 Maruthi Mahesh Bandi(准教授) 平成24年2月 教員審査済 判定 D可 配当年次を変更(25)		

	B11 Classical Electrodynamics 古典電気力学	1④ 1②	2	1					配当年次を変更(25)
	B12 Statistical Physics 統計物理学	1②	2		1				教員採用により科目を追加(25) 担当 Nicholas Sean Patrick Shannon (准教授) 平成24年8月 教員審査済 判定 D可
	B13 Continuum Mechanics 連続体力学	1③	2		1				教員採用により科目を追加(25) 担当 Pinaki Chakraborty (准教授) 平成24年2月 教員審査済 判定 D可
	B13 Theoretical and Applied Fluid Mechanics 理論及び応用流体力学								講義内容の見直しに伴い科目内容及び名称の変更(25) (B13 Continuum Mechanics 連続体力学 → B13 Theoretical and Applied Fluid Mechanics 理論及び応用流体力学) 担当 Pinaki Chakraborty (准教授) 平成25年2月 教員審査済 判定 D可
	B14 Theoretical and Applied Solid Mechanics 理論及び応用固体力学	1③	2	1					教育課程の充実を図り科目を追加(25) 担当 Gusutavo Gioia (教授) 平成25年2月 教員審査済 判定 D可
	B15 Immunology 免疫学	1③	2		1				教育課程の充実を図り科目を追加(26) 担当 石川 裕規(准教授) 平成25年8月 教員審査済 判定 D可
	B16 Ecology and Evolution 進化生態学	1②	2		1				講義内容の見直しに伴い科目内容及び名称の変更(26) (A302 Ecology and Evolution進化生態学 → B16 Ecology and Evolution進化生態学) 担当 Evan Philip Economo (准教授) 平成25年8月 教員審査済 判定 D可
Advanced Courses 専門 科目	A101Adaptive Systems 適応システム特論	2①	2	1					
	A102 Mathematical Methods of Natural Sciences 自然科学における数学的方法特論	2②	2		1				
Advanced Topics in Physical Sciences 物理 科学 専門 科目	A201 Quantum Mechanics 量子力学	2①	2		1				
	A202 Fluid Dynamics 流体力学	2①	2		1				
	A203 Advanced Optics 光物理学最前線	2②	2		1				
	A204 Condensed Matter 凝縮系物理学	2②	2		1				
	A205 Quantum Field Theory 場の量子論	2③	2	1					

	A206 Analog Electronics アナログ電子工学	2①	2			1			PT1 兼1
	A207 Nanotechnology ナノテクノロジー	2③ 2②	2			1			配当年次を変更(25)
	A208 Bioorganic Chemistry 生物有機化学	2②	2			1			講義内容の見直しに伴い科目内容及び名称の変更(25) (B01 Chemistry 化学 → A208 Bioorganic Chemistry 生物有機化学) 担当 田中 富士枝(准教授) 平成24年8月 教員審査済 判定 D可
	A209 Ultrafast Spectroscopy 超高速分光法	2①	2			1			教育課程の充実を図り科目を追加(26) 担当 Keshav Moreshwar Dani(准教授) 平成25年8月 教員審査済 判定 D可
Advanced Topics in Life Sciences 生命科学専門科目	A301 Signal Transduction シグナル伝達特論	2①	2			1			講義内容の見直しに伴い科目内容及び名称の変更(26) (A302 Ecology and Evolution 進化生態学 → B16 Ecology and Evolution 進化生態学) 担当 Evan Philip Economo(准教授) 平成25年8月 教員審査済 判定 D可
	A302 Ecology and Evolution 進化生態学	2④	2			4			
	A303 Developmental Biology 発生生物学	2②	2			1			
	A304 Evolutionary Developmental Biology 進化発生生物学	2③	2		1				
	A305 Microbiology and Biotechnological Applications 微生物学・生物工学的応用特 論	2③	2			1			
	A306 Neuroethology 神経行動学	2①	2			1			教育課程の充実を図り科目 を追加(25) 担当 矢崎 陽子(杉山陽子) (准教授) 平成25年2月 教員審査済 判定 D可
	A307 Molecular Oncology and Cell Signaling 分子腫瘍学と細胞シグナル	2②	2		1				教育課程の充実を図り科目 を追加(25) 担当 山本 雅(教授) 平成25年2月 教員審査済 判定 D可
	A308 Epigenetics エピジェネティクス	2③	2			1			教育課程の充実を図り科目 を追加(26) 担当 佐瀬 英俊(准教授) 平成25年8月 教員審査済 判定 D可
	A309 Quantitative Molecular Biology 定量分子生物学	2②	2			1			教育課程の充実を図り科目 を追加(26) 担当 Tatiana Teresa Márquez-Lago(准教授) 平成25年8月 教員審査済 判定 D可

	A310 Computational Neuroscience 計算神経科学	2②		2		1					教育課程の充実を図り科目を追加(26) 担当 Erik De Schutter (教授) 平成25年8月 教員審査済 判定 D可
学 際 的 科 学 専 門 科 目 Advanced Interdisciplinary Topics	A401 Controversies in Science 演習「科学の論点」	2①		2		1	4				担当教員の就任辞退に伴う変更(25) 担当 Gordon William Arbuthnott(教授) 平成24年2月 教員審査済 判定 D可
	A402 Computational and Mathematical Biology 計算・数理生物学	2② 2③		2							PT2 配当年次を変更(25) 兼2
	A403 Structural Biology 構造生物学 A403 Structural Biology: Protein X-ray Crystallography 構造生物学:タンパク質X線結晶解析	2②		2		4	1				講義内容の見直しに伴い科目内容及び名称の変更(26) (A403 Structural Biology 構造生物学 → A403 Structural Biology: Protein X-ray Crystallography 構造生物学) 担当 Fadel Alexis Samatey (准教授) 平成25年8月 教員審査済 判定 D可
	A404 Measurement 計測法演習	2③		2			1				
	A405 Emerging Technologies in Life Science 生命科学における先端技術特論	2③		2		1					
	A406 Independent Study 自主研究	2①② ③		1		1					
	A407 Special Topics 特別課題演習	2①② ③		1		1					
	A408 International Workshop Participation 国際ワークショップ演習	3・4・5 ①② ③		1		1					
	A409 Electron Microscopy 電子顕微鏡法	2①		2			1				教育課程の充実を図り科目を追加(26) 担当 Matthias Wolf (准教授) 平成25年8月 教員審査済 判定 D可
	A410 Molecular Electron Tomography 分子電子トモグラフィー	2③		2		1					教育課程の充実を図り科目を追加(26) 担当 Bo Ulf Skoglund (教授) 平成25年8月 教員審査済 判定 D可

Laboratory Courses ラボコース	Laboratory Rotations ラボ・ローテーション	1通	9			12 14 13	20 25				PT2 教員採用により担当教員を追加 兼2 (25) 担当 Maruthi Mahesh Bandi(准教授) 平成24年2月 教員審査済 判定 D可 担当 Pinaki Chakraborty(准教授) 平成24年2月 教員審査済 判定 D可 担当 Keshav Moreswar Dani(准教授) 平成24年2月 教員審査済 判定 D可 担当 Evan Philip Economo(准教授) 平成24年8月 教員審査済 判定 D可 担当 Gustavo Gioia(教授) 平成24年8月 教員審査済 判定 D可 担当 Tatiana Teresa Márquez Lago(准教授) 平成24年8月 教員審査済 判定 D可 担当 Nicholas Sean Patrick Shannon(准教授) 平成24年8月 教員審査済 判定 D可 担当 Nicholas Edward Baker(教授) 平成24年10月 教員審査済 判定 D可 担当 Matthias Wolf(准教授) 平成24年10月 教員審査済 判定 D可
	Thesis Proposal 研究計画書作成指導	2 ①② ③	1			12 14 13	20 25				教員採用により担当教員を追加 (25) 担当 Maruthi Mahesh Bandi(准教授) 平成24年2月 教員審査済 判定 D可 担当 Pinaki Chakraborty(准教授) 平成24年2月 教員審査済 判定 D可 担当 Keshav Moreswar Dani(准教授) 平成24年2月 教員審査済 判定 D可 担当 Evan Philip Economo(准教授) 平成24年8月 教員審査済 判定 D可 担当 Gustavo Gioia(教授) 平成24年8月 教員審査済 判定 D可 担当 Tatiana Teresa Márquez Lago(准教授) 平成24年8月 教員審査済 判定 D可 担当 Nicholas Sean Patrick Shannon(准教授) 平成24年8月 教員審査済 判定 D可 担当 Nicholas Edward Baker(教授) 平成24年10月 教員審査済 判定 D可 担当 Matthias Wolf(准教授) 平成24年10月 教員審査済 判定 D可

	Research Guidance (研究指導)	3~5 通	—			12 14 13	20 25				教員採用により担当教員を追加 (25) 担当 Maruthi Mahesh Bandi(准教授) 平成24年2月 教員審査済 判定 D・ 担当 Pinaki Chakraborty(准教授) 平成24年2月 教員審査済 判定 D・ 担当 Keshav Moreswar Dani(准教授) 平成24年2月 教員審査済 判定 D・ 担当 Evan Philip Economo(准教授) 平成24年8月 教員審査済 判定 D・ 担当 Gustavo Gioia(教授) 平成24年8月 教員審査済 判定 D・ 担当 Tatiana Teresa Márquez Lago(准教授) 平成24年8月 教員審査済 判定 D・ 担当 Nicholas Sean Patrick Shannon(准教授) 平成24年8月 教員審査済 判定 D・ 担当 Nicholas Edward Baker(教授) 平成24年10月 教員審査済 判定 D・ 担当 Matthias Wolf(准教授) 平成24年10月 教員審査済 判定 D・
--	-----------------------------	----------	---	--	--	----------------	----------	--	--	--	---

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について, 設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても, 設置認可時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	33	3	41	5	45 [12]	3	53 [12]	

- (注) ・ 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, [] 内に, 届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	(該当なし)					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	(該当なし)					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(該当なし)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用施設を返還したため面積が縮小。 (25)			
	校舎敷地	696,914.91㎡	—	—	696,914.91㎡				
	運動場用地	—	—	—	—				
	小 計	696,914.91㎡	0.00㎡	0.00㎡	696,914.91㎡				
	そ の 他	72,690.0073,175.80㎡	—	—	72,690.0073,175.80㎡				
合 計	769,604.91770,090.71㎡	0.00㎡	0.00㎡	769,604.91770,090.71㎡					
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	講堂を新設。(25)			
		43,568.0340,101.45㎡	—	—	43,568.0340,101.45㎡				
		—	—	—	—				
(3) 教 室 等	講 義 室	13室	演 習 室 一室 (講義室と兼用)	実験実習室 1室	情報処理学習施設 一室 (補助職員 一人)	語学学習施設 一室 (補助職員 一人)			
	(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称 科学技術研究科		室 数 53 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	・学術雑誌の研究分野 拡大と教員・学生の増 加により図書・電子 ジャーナルの購入・購 読数が増加。(26) ・機械・器具につい ては申請時において旧独 法時のデータを使用し たが、今次調査では学 校法人移行(取得価格 引上げ)後のデータを 使用したため。(25)	
	科学技術研究科	2000〔1800〕 (15341392〔15074376〕)	2080〔2020〕 (62225580〔56775571〕)	2000〔1950〕 (62055558〔56835557〕)	0 3	2094 868	0		
	計	2000〔1800〕 (1392〔1376〕)	580〔520〕 (5580〔5571〕)	500〔450〕 (5558〔5557〕)	3	2094 868	0		
(6) 図 書 館	面 積	327㎡		閱 覧 座 席 数	24	収 納 可 能 冊 数	5,000		
	(7) 体 育 館	面 積	—㎡ 該 当 な し 該 当 な し				体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要		
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設年度数値を実績額 に更新したため(26)
		教員1人当り研究費等	33,936千円 34,156千円	65,201千円	図書購入費	151,719千円 86,423千円	140,353千円 140,353千円	244,345千円	
	共同研究費等	88,279千円 99,439千円	85,239千円	設備購入費	2,557,824千円	930,774千円 930,774千円	129,233千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	学生納付金以外の維持方法の概要	国(内閣府)による運営費補助金、外部資金、寄付金							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称		〇〇大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
(該当なし)	年	人	年次人	人		倍			
大学の名称		〇〇短期大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
(該当なし)	年	人	年次人	人		倍			

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。（ただし，専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）
- ・ 「平均定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を，学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には，専攻課程）単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「－」とし，「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学，短期大学においては学科単位（短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位），大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

< 科学技術研究科 科学技術専攻（博士一貫課程） >

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	ゴードン・ウィリアム・アーバスノット Gordon William Arbuthnott	平成23年11月	PD2 Professional Development II プロフェッショナル・ディベロップメント II	専	教授	ゴードン・ウィリアム・アーバスノット Gordon William Arbuthnott	平成24年9月	A401 Controversies in Science 演習「科学の論点」	平成23年10月 シュティエフェル准教授就任辞退による担当教員の変更 平成24年2月 教員審査済(25)
				B5 Neurobiology 神経生物学					Laboratory Rotations ラボ・ローテーション	
専	教授	エリック・デ・シュッター Erik De Schutter	平成23年11月	A408 International Workshop Participation 国際ワークショップ演習	専	教授	エリック・デ・シュッター Erik De Schutter	平成25年9月	A310 Computational Neuroscience 計算神経科学	教育課程の充実を図り科目を追加 平成25年8月 教員審査済(26)
				Laboratory Rotations ラボ・ローテーション					Thesis Proposal 研究計画書作成指導	
専	教授	ドウヤ ケンジ 銅谷 賢治	平成23年11月	B7 Statistical Methods 統計的手法						
				A101 Adaptive Systems 適応システム特論						
				Laboratory Rotations ラボ・ローテーション						
				Thesis Proposal 研究計画書作成指導						
				Research Guidance (研究指導)						

兼任	アジャンクト・プロフェッサー	イゴール・ゴリヤニン Igor Goryanin	平成23年11月	A402 Computational and Mathematical Biology 計算・数理生物学						
専	准教授	ホルガー・ イエンケコダマ Holger Jenke- Kodama	平成23年11月	A305 Microbiology and Biotechnological Applications 微生物学・生物工 学的応用特論 Laboratory Rotations ラボ・ローテー ション Thesis Proposal 研究計画書作成指 導 Research Guidance (研究指導)						
兼任	アジャンクト・プロフェッサー	キタノ ヒロアキ 北野 宏明	平成23年11月	Computational and Mathematical Biology 計算・数理生物学						
専	准教授	ベアン・クン Bernd Kuhn	平成23年11月	B8 Physics for Life Sciences 生命科学のための 物理学 Laboratory Rotations ラボ・ローテー ション Thesis Proposal 研究計画書作成指 導 Research Guidance (研究指導)						
専	教授	マルヤマ イチロウ 丸山 一郎	平成23年11月	A405 Emerging Technologies in Life Science 生命科学における 先端技術特論 Laboratory Rotations ラボ・ローテー ション Thesis Proposal 研究計画書作成指 導 Research Guidance (研究指導)						
専	准教授	マサイ イチロウ 政井 一郎	平成23年11月	A303 Developmental Biology 発生生物学 Laboratory Rotations ラボ・ローテー ション Thesis Proposal 研究計画書作成指 導 Research Guidance (研究指導)						

専	准教授	アレクサンダー・ミケエフ Alexander S Mikheyev	平成23年11月	B2 Biology 生物学						
				A302 Ecology and Evolution 進化生態学	専	准教授	エヴァン・フィリップ・エコノモ Evan Philip Economo	平成26年1月	B16 Ecology and Evolution 進化生態学	講義内容の見直しに伴い科目内容及び名称の変更 平成25年8月 教員審査済(26)
				Laboratory Rotations ラボ・ローテーション						
				Thesis Proposal 研究計画書作成指導						
				Research Guidance (研究指導)						
専	准教授	ジョナサン・ミラー Jonathan Miller	平成23年11月	B10 Analytical Mechanics 解析力学	専	准教授	マルティ・マヘシュ・バンディ Maruthi Mahesh Bandi	平成24年9月	B10 Analytical Mechanics 解析力学	教員の採用により担当教員を変更 平成24年2月 教員審査済(25)
				A102 Mathematical Methods of Natural Sciences 自然科学における数学的方法特論						
				Laboratory Rotations ラボ・ローテーション						
				Thesis Proposal 研究計画書作成指導						
				Research Guidance (研究指導)						
専	准教授	ミタライ サトシ 御手洗 哲司	平成23年11月	A202 Fluid Dynamics 流体力学						
				Laboratory Rotations ラボ・ローテーション						
				Thesis Proposal 研究計画書作成指導						
				Research Guidance (研究指導)						
専	准教授	メリー・アン・プライス Mary Ann Price	平成23年11月	B6 Cell Biology and Genetics 細胞生物学及び遺伝学						
				A301 Signal Transduction シグナル伝達特論						
				Laboratory Rotations ラボ・ローテーション						
				Thesis Proposal 研究計画書作成指導						
				Research Guidance (研究指導)						

専	准教授	ファデル・アレクシ・サマテ Fadel Alexis Samatey	平成23年11月	A403 Structural Biology 構造生物学	専	准教授	ファデル・アレクシ・サマテ Fadel Alexis Samatey	平成26年1月	A403 Structural Biology: Protein X-ray Crystallography 構造生物学: タンパク質X線結晶解析	講義内容の見直しに伴い科目内容及び名称の変更 平成25年8月 教員審査済 (26)
				Laboratory Rotations ラボ・ローテーション						
				Thesis Proposal 研究計画書作成指導						
				Research Guidance (研究指導)						
専	教授	サトウ ノリユキ 佐藤 矩行	平成23年11月	A304 Evolutionary Developmental Biology 進化発生生物学						
				Laboratory Rotations ラボ・ローテーション						
				Thesis Proposal 研究計画書作成指導						
				Research Guidance (研究指導)						
専	准教授	ロバート・マイケル・シンクレア Robert Michael Sinclair	平成23年11月	B3 Mathematics I 数学 I						
				B4 Mathematics II 数学 II						
				Laboratory Rotations ラボ・ローテーション						
				Thesis Proposal 研究計画書作成指導						
				Research Guidance (研究指導)						
専	教授	ボー・ウルフ・スコグランド Bo Ulf Skoglund	平成23年11月	A403 Structural Biology 構造生物学	専	准教授	ファデル・アレクシ・サマテ Fadel Alexis Samatey	平成26年1月	A403 Structural Biology: Protein X-ray Crystallography 構造生物学: タンパク質X線結晶解析	講義内容の見直しに伴い科目内容及び名称の変更 平成25年8月 教員審査済 (26)
				Laboratory Rotations ラボ・ローテーション						
				Thesis Proposal 研究計画書作成指導						
				Thesis Proposal 研究計画書作成指導						
					専	教授	ボー・ウルフ・スコグランド Bo Ulf Skoglund	平成25年9月	A410 Molecular Electron Tomography 分子電子トモグラフィ	教育課程の充実を図り科目を追加 平成25年8月 教員審査済 (26)

専	准教授	クラウス・マキシミリアン・シュティエフェル Klaus Maximilian Stiefel	平成23年11月	A401 Controversies in Science 演習「科学の論点」	専	教授	ゴードン・ウィリアム・アーバスノット Gordon William Arbuthnott	平成24年9月	A401 Controversies in Science 演習「科学の論点」	平成23年10月 就任辞退による担当教員の変更 平成24年2月 教員審査済(25)
				Laboratory Rotations ラボ・ローテーション						
兼任	アジャクト・プロフェッサー	タカハシ トモユキ 高橋 智幸	平成23年11月	Laboratory Rotations ラボ・ローテーション						
専	教授	アイリーン・ゲイル・トリップ Eileen Gail Tripp	平成23年11月	B9 Learning and Behavior 学習・行動特論 Laboratory Rotations ラボ・ローテーション Thesis Proposal 研究計画書作成指導 Research Guidance (研究指導)						
兼任	アジャクト・プロフェッサー	デイヴィッド・ヴァンヴァクター David Van Vactor	平成23年11月	Laboratory Rotations ラボ・ローテーション						
専	教授	ジェフリー・ラッセル・ウィッケンズ Jeffery Russell Wickens	平成23年11月	PD1 Professional Development I プロフェッショナル・ディベロップメント I	専	教授	ジェフリー・ラッセル・ウィッケンズ Jeffery Russell Wickens	平成24年9月	PD1 Professional Development I プロフェッショナル・ディベロップメント I	講義内容及び配当年次の見直しに伴い配当年次を変更 平成24年8月 教員審査済(25)
				PD3 English for Higher Education in Science and Technology 大学院レベル科学技術英語 PD4 Essential Japanese for Foreign Researchers 外国人研究者のための必須日本語 PD5 Laboratory Experience ラボ入門 A406 Independent Study 自主研究 A407 Special Topics 特別課題演習 Laboratory Rotations ラボ・ローテーション Thesis Proposal 研究計画書作成指導 Research Guidance (研究指導)						

専	教授	ヤナギダ ミツヒロ 柳田 充弘	平成23年11月	B6 Cell Biology and Genetics 細胞生物学及び遺 伝学 Laboratory Rotations ラボ・ローテー ション Thesis Proposal 研究計画書作成指 導 Research Guidance (研究指導)						
専	准教授	ヤザキ ヨウコ (スギヤマ ヨウ コ) 矢崎 陽子 (杉山陽子)	平成23年11月	Laboratory Rotations ラボ・ローテー ション Thesis Proposal 研究計画書作成指 導 Research Guidance (研究指導)						
	専	准教授		ヤザキ ヨウコ (スギヤマ ヨウ コ) 矢崎 陽子 (杉山陽子)	平成25年9月	A306 Neuroethology 神経行動学	教育課程の充実を図り科目を追加 平成25年2月 教員審査済 (25)			
専	准教授	サゼ ヒデトシ 佐瀬 英俊	平成23年11月	Laboratory Rotations ラボ・ローテー ション Thesis Proposal 研究計画書作成指 導 Research Guidance (研究指導)						
	専	准教授		サゼ ヒデトシ 佐瀬 英俊	平成26年5月	A308 Epigenetics エピジェネティク ス	教育課程の充実を図り科目を追加 平成25年8月 教員審査済 (26)			
専	教授	シンタケ ツモル 新竹 積	平成23年11月	B11 Classical Electrodynamics 古典電気力学 Laboratory Rotations ラボ・ローテー ション Thesis Proposal 研究計画書作成指 導 Research Guidance (研究指導)						
専	教授	ヒカミ シノブ 水上 忍	平成24年4月	A205 Quantum Field Theory 場の量子論 Laboratory Rotations ラボ・ローテー ション Thesis Proposal 研究計画書作成指 導 Research Guidance (研究指導)						

専	教授	ヤマモト タダシ 山本 雅	平成24年4月	Laboratory Rotations ラボ・ローテーション Thesis Proposal 研究計画書作成指導 Research Guidance (研究指導)						
					専	教授	ヤマモト タダシ 山本 雅	平成26年1月	A307 Molecular Oncology and Cell Signaling 分子腫瘍学と細胞シグナル	教育課程の充実を図り科目を追加 平成25年2月 教員審査済(25)
専	准教授	タナカ フジエ 田中 富士枝	平成23年11月	B1 Chemistry 化学 Laboratory Rotations ラボ・ローテーション Thesis Proposal 研究計画書作成指導 Research Guidance (研究指導)	専	准教授	タナカ フジエ 田中 富士枝	平成24年9月	A208 Bioorganic Chemistry 生物有機化学	講義内容の見直しに伴い科目内容及び名称の変更 平成24年8月 教員審査済(25)
専	准教授	イソダ マサキ 磯田 昌岐	平成23年11月	Laboratory Rotations ラボ・ローテーション Thesis Proposal 研究計画書作成指導 Research Guidance (研究指導)						平成24年3月 就任辞退 他に担当専任教員がいるため、支障はなく、担当教員の変更不要(25)
専	准教授	トーマス・ステファン・ブッシュ Thomas Stefan Busch	平成24年9月	A204 Condensed Matter 凝縮系物理学 Laboratory Rotations ラボ・ローテーション Thesis Proposal 研究計画書作成指導 Research Guidance (研究指導)						
専	准教授	シエラ・ニコーマック Sile Nic Chormaic	平成24年9月	A203 Advanced Optics 光物理学最前線 Laboratory Rotations ラボ・ローテーション Thesis Proposal 研究計画書作成指導 Research Guidance (研究指導)						
専	准教授	イシカワ ヒロキ 石川 裕規	平成24年9月	Laboratory Rotations ラボ・ローテーション Thesis Proposal 研究計画書作成指導 Research Guidance (研究指導)						
					専	准教授	イシカワ ヒロキ 石川 裕規	平成26年5月	B15 Immunology 免疫学	教育課程の充実を図り科目を追加 平成25年8月 教員審査済(26)

専	准教授	デニス・ コンスタンチノフ Denis Konstantinov	平成23年11月	A201 Quantum Mechanics 量子力学 A404 Measurement 計測法演習 Laboratory Rotations ラボ・ローテ ーション Thesis Proposal 研究計画書作成指 導 Research Guidance (研究指導)						
専	教授 (プロポー スト)	ロバート・ バックマン Robert Baughman	平成23年11月	B5 Neurobiology 神経生物学						
専	准教授	ムックレス・ ソワン Mukhles Sowwan (Mukhles Ibrahim Hasan Sawwan)	平成23年11月	A207 Nanotechnology ナノテクノロジー Laboratory Rotations ラボ・ローテ ーション Thesis Proposal 研究計画書作成指 導 Research Guidance (研究指導)						
専	准教授	ヤビン・チー Yabing Qi	平成23年11月	A206 Analog Electronics アナログ電子工学 Laboratory Rotations ラボ・ローテ ーション Thesis Proposal 研究計画書作成指 導 Research Guidance (研究指導)						
兼任	ビジティ ング・プロ フェッサー	デイヴィッド・ エリオット・ ドーファン David Elliot Dorfan	平成23年11月	A206 Analog Electronics アナログ電子工学						
					専	准教授	マルティ・ マヘシュ・バンディ Maruthi Mahesh Bandi	平成24年9月	B10 Analytical Mechanics 解析力学 Laboratory Rotations ラボ・ローテ ーション Thesis Proposal 研究計画書作成指 導 Research Guidance (研究指導)	平成24年2月 教員審査済 (25)
								平成25年5月	B13 Theoretical and Applied Fluid Mechanics 理論及び応用流体 力学	平成25年2月 教員審査済 (25)
					専	准教授	ピナキ・ チャクラボルティ Pinaki Chakraborty	平成24年9月	Laboratory Rotations ラボ・ローテ ーション Thesis Proposal 研究計画書作成指 導 Research Guidance (研究指導)	平成24年2月 教員審査済 (25)

					専	准教授	ケシャヴ・モレシュワール・ダニ Keshav Moreswar Dani	平成24年9月 Laboratory Rotations ラボ・ローテーション Thesis Proposal 研究計画書作成指導 Research Guidance (研究指導)	平成24年2月 教員審査済 (25)
								平成26年5月 A209 Ultrafast Spectroscopy 超高速分光法	教育課程の充実を図り科目を追加 平成25年8月 教員審査済 (26)
					専	准教授	エヴァン・フィリップ・エコモ Evan Philip Economo	平成24年9月 Laboratory Rotations ラボ・ローテーション Thesis Proposal 研究計画書作成指導	平成24年8月 教員審査済 (25)
								平成26年1月 B16 Ecology and Evolution 進化生態学	講義内容の見直しに伴い科目内容及び名称の変更 平成25年8月 教員審査済 (26)
					専	教授	グスタボ・ジョイア Gustavo Gioia	平成25年5月 B14 Theoretical and Applied Solid Mechanics 理論及び応用固体力学	平成25年2月 教員審査済 (25)
								平成24年9月 Laboratory Rotations ラボ・ローテーション Thesis Proposal 研究計画書作成指導 Research Guidance (研究指導)	平成24年8月 教員審査済 (25)
					専	准教授	タティアナ・テレサ・マルケス・ラゴ Tatiana Teresa M árquez Lago	平成24年9月 Laboratory Rotations ラボ・ローテーション Thesis Proposal 研究計画書作成指導 Research Guidance (研究指導)	平成24年8月 教員審査済 (25)
								平成26年1月 A309 Quantitative Molecular Biology 定量分子生物学	教育課程の充実を図り科目を追加 平成25年8月 教員審査済 (26)
					専	准教授	ニコラス・ショーン・パトリック・シャノン Nicholas Sean Patrick Shannon	平成24年9月 B12 Statistical Physics 統計物理学 Laboratory Rotations ラボ・ローテーション Thesis Proposal 研究計画書作成指導 Research Guidance (研究指導)	平成24年8月 教員審査済 (25)

					専	教授	ニコラス・エドワード・ベイカー Nicholas Edward Baker	平成25年1月	Laboratory Rotations ラボ・ローテーション Thesis Proposal 研究計画書作成指導 Research Guidance (研究指導)	平成24年10月 教員審査済(25) 平成25年3月 就任辞退 他に担当専任教員がいるため、支障はなく、担当教員の変更不要(26)
					専	准教授	マティアス・ウォルフ Matthias Wolf	平成25年1月	Laboratory Rotations ラボ・ローテーション Thesis Proposal 研究計画書作成指導 Research Guidance (研究指導)	平成24年10月 教員審査済(25)
								平成25年9月	A409 Electron Microscopy 電子顕微鏡法	教育課程の充実を図り科目を追加 平成25年8月 教員審査済(26)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
28	4	32	35	3	38		
(27)	(3)	(30)	[7]	[Δ1]	[6]	70歳	2名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	クラウス・マキシミリアン・シュティーフエル Klaus Maximilian Stiefel	平成23年10月31日付自己都合退職のため（ウエスタンシドニー大学へ転出）（25）
2	准教授	イソダ マサキ 磯田 昌岐	平成24年3月31日付自己都合退職のため（関西医科大学へ転出）（25）
3	教授	ニコラス・エドワード・ベイカー Nicholas Edward Baker	平成25年3月31日付自己都合退職のため（26）

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当する授業科目については、他の専任教員に担当を変更し、影響はない。 なお、学生に対しては、本学のウェブサイトを通じて周知済みである。（25）（26）
--

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成23年11月)	<p>設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から大学院大学にふさわしい教育研究活動を行なうことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。さらに、大学院大学を設置できるのは、教育研究上特別の必要がある場合とされていることに照らし、その必要性を十分に踏まえた教育研究活動及び大学運営に留意すること。</p> <p>また、本研究科における工学 (Technology) 分野の教育・研究に対する基本理念等を踏まえ、必要な教員を計画通りに採用すること。さらに履修モデルについても、学士(工学)等の学生を対象とした履修モデルを作成するなど、その理念に基づいたものを作成すること。</p>	<p>設置計画を確実に履行するため、専任教員を新たに採用し、担当授業科目を追加する等、本学の教育・研究活動の水準を一層向上させるように努めている。</p> <p>平成24年度は、工学系の学生6人を含む、多様な履修歴を有する学生34人が入学し、個々の学生のニーズに応じた柔軟な博士課程プログラムを提供するために、学生一人一人にアカデミック・メンターを割り当て、履修計画やラボ・ローテーションに関する指導を行った。ラボ・ローテーションのシステムを策定し、全学生に3箇所のラボをローテーションするように割り当て、履修計画を柔軟に編成した。また、学生全員にプロフェッショナル・ディベロップメント科目を提供し、研究・教育分野においてリーダーシップを発揮するために必要な知識と技術の開発に取り組んでいる。同プログラムには、研究活動と倫理に関する基本理念を学ぶ週1回のセミナーをはじめ、科学コミュニケーション、社会における科学の役割、学際的グループ・プロジェクト、実践に役立つプレゼンテーション、ライティングの技術等のトレーニングが含まれる。</p> <p>学生の進捗を管理するための安全対策とバックアップシステムを備えた学籍簿の整備・運用をし、データベース用のインターフェースを異なるユーザーのニーズに対応できるように改善した。また、学生の履修状況や成績に対する教員からのコメントを教員、アカデミック・メンター、学生に報告するシステムを策定した。加えて、履修支援システム (Sakai) の設置・運用により、教育環境の充実を図った。さらに、研究活動を充実させるために必要なソフトウェアを搭載したノート型パソコンを個々の学生に提供する等コンピューター環境の整備を行った。</p>	(該当なし)

	<p>大学院大学としての教育研究環境を一層向上させるため、研究室、図書等の施設設備の充実に努めること。</p>	<p>学生が国内外の奨学金を申請することを強く推奨し、奨学金に関する情報を収集・提供することにより、申請のサポートを行なっている。また、キャリアセンターの開設も進めている。キャリアセンターにおける支援には、国内外の大学・研究機関のリーダー層とのネットワーク構築の促進に向けたキャリアアドバイザー/プロフェッショナル・ディベロップメント・カウンセラーの雇用やポストドク等のポジションの就職情報の提供、沖縄のベンチャー企業におけるインターンなど起業家活動のサポートが含まれる。</p> <p>工学(Technology)分野の教育・研究体制をさらに充実させるため、必要な教員を採用した(「5教員組織の状況」参照)。(25)</p> <p>教育研究環境を一層向上させるため、実験実習室(Teaching Laboratory)の準備を整えた。実験実習室は、組織学、顕微鏡法、神経科学、電気生理学、分子生物学、細胞培養、一般化学、レーザー物理学、レーザー光学の実験・演習に必要な機器を十分に備え、24名の学生を収容する。実験実習室の充実した設備により、学生は、本学の研究室で使用されているものと同型の最先端の機器の操作に関するトレーニングを受けることが可能である。加えて、学生は、ラボ・ローテーションの一環として、本学の研究室にも配属され、研究手法・手順のトレーニングを受ける。</p> <p>図書に関しては、紙の書籍から電子書籍の時代となり、検索ソフトウェア等も常に進化しているため、常に最新の情報を取り入れて改善するように努めている。電子ジャーナルの有効活用については、図書館委員会の助言の下、より一層のコレクションの充実に努めている。また、電子ジャーナルの利用を促進するリンクサービスを導入したことにより、効率的活用は大幅に進展し、機能的に運営している。(25)</p>	<p>(該当なし)</p>
<p>設置計画履行状況 調 査 時 (平成25年5月)</p>	<p>(該当なし)</p>	<p>(該当なし)</p>	<p>(該当なし)</p>

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

< 科学技術研究科 科学技術専攻（博士一貫課程） >

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
(1~6の項目に記入した事項以外は該当なし)	

- (注) ・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- 1) 入学者選抜委員会 (Admissions Committee) (25) (26)
- 2) ~~アカデミックプログラム・ワーキンググループ (Working Group on the Academic Program) (26)~~
- 3) ~~成績評価委員会 (Examiners' Meeting) (26)~~
- 4) メンター・ミーティング (Mentors Meeting) (25) (26)
- 5) カリキュラム・審査委員会 (Curriculum and Examination Committee) (26)

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- 1) 平成24年度6回開催。主な研究・教育分野を代表する教員、プロボースト、副プロボースト（研究担当）、アカデミックサービスセクションマネジャー、学生支援セクションマネジャーで構成。(25) (26)
平成25年度4回開催。(26)
- 2) ~~平成24年度定期的に複数回開催。研究科長、授業担当教員で構成。(26)~~
平成25年より、本ワーキンググループはカリキュラム・審査委員会に置き換えられた。(26)
- 3) ~~平成24年度1回開催。研究科長、授業担当教員で構成。(26)~~
平成25年より、本ワーキンググループはカリキュラム・審査委員会に置き換えられた。(26)
- 4) 平成24年度1回開催。学生の履修について指導を行うアカデミック・メンター及び研究科長で構成。(25) (26)
平成25年度1回開催。(26)
- 5) 平成25年度3回開催。主な研究・教育分野を代表する教員、プロボースト、副プロボースト（研究担当）、アカデミックサービスセクションマネジャー、学生支援セクションマネジャーで構成。(26)

c 委員会の審議事項等

- 1) 入学志願者の審査、学生募集について (25)
- 2) ~~カリキュラムの実施、効果的及び円滑な授業の実践方法について~~

~~平成25年度より、本委員会に代わって、カリキュラムの検討や学生の進捗、研究計画書の承認、研究指導教員及び論文指導委員の任命を行う「カリキュラム・審査委員会」を設置予定。関連規程を整備中である。(26)~~

3) ~~成績評価基準の統一、成績の通知方法、評価方法の検討、学生へのフィードバックの仕方について(26)~~

4) 学生への研究ラボに関する情報提供、学生・メンター・研究指導教員の役割について(25)

5) ~~学生の個別プログラム（プログラム・プロポーザルのレビュー）、学生の学業の進捗（年次報告書のレビュー）、研究計画書及び博士研究開始の承認、研究指導教員及び論文委員会の任命、論文審査委員の任命、学位の授与、カリキュラムの変更（コース提案書のレビュー）、カリキュラム及び学業に関するその他の事項について(26)~~

② 実施状況

a 実施内容

教員研修会の実施（ファカルティ・リトリート）(25) (26)

b 実施方法

教育プログラムの見直しと授業の質向上の方法について、研修会（終日）を行った。(25)

~~教員組織の管理について、研修会（終日）を行った。(26)~~

c 開催状況（教員の参加状況含む）

学長、プロポーストを含む34名が参加。授業に関する教員・学生からのフィードバック、教員に対する学生からの要望、ラボ・ローテーションにおける学生に対する指導方法の見直し、教育方針に対する教員のコミットメント、試験及び評価方法について検討を行った。(25)

~~学長、プロポーストを含む34名が参加。教授会の運営体制の見直しや代議員の選任に関する事項など、教員の管理運営に関する事項を中心に審議を行った。(26)~~

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学は、多様なアカデミック・バックグラウンドをもつ学生が一つの研究科に所属しているため、多くの教員にとって、一つのクラスルーム内で異なる科学分野の学生（生命科学や物理など）に対し、授業を行うことは新しい試みである。教育改善に向け、教員同士による授業評価や小規模のワークショップの実施を具体的に計画している。しかし、国際的にみても、学際的な教授法の経験をもつ教員が少ないため、教員の資質向上のためには新たな取り組みが必要であると見なし、検討している。また、学生の授業における達成度に関するフィードバックの書き方についても、セミナーを行う予定である。(25)

~~前年度のファカルティ・リトリートの審議結果を踏まえ、学生の多様なアカデミック・バックグラウンドを考慮した効果的な教授法の開発に役立てるため、入試ワークショップに参加した入学志願者に対し、数学及びコンピューター・プログラミングに関する基礎知識調査を行った。(26)~~

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

一学期、二学期終了後、学生による匿名の授業アンケートを実施した。アンケートは標準化された質問項目と自由記述欄で構成された。(25) (26)

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートの結果は、授業を担当した教員にフィードバックされ、授業改善のための資料として用いられた。(25) (26)

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は平成24年9月に開設し、設置計画に準じて教育研究活動を行っている。設置計画を確実に履行するため、専任教員を新たに採用し、担当授業科目を追加する等、本学の教育・研究活動の水準の一層の向上に努めている。平成24年度は、多様な履修歴を有する学生34人が入学し、履修計画を柔軟に編成することにより、個々の学生のニーズに応じた柔軟な博士課程プログラムを提供している。

大学院大学としての教育研究環境を一層向上させるため、最先端の機器を備えた実験実習室および研究室、並びに電子ジャーナルを効率的に活用した図書等の施設設備の充実に努めている。(25)

本学は設置の趣旨に準じて教育研究活動を行っている。平成24年9月に、単一の研究科・専攻からなる5年一貫制の博士課程を開設し、第1期の学生を受け入れ、平成25年9月には第2期生20名を受け入れた。本学は、独創性を発揮し、科学的思考を追求し、既存の枠を越えて効果的に連携する能力を備えた次世代の科学者・研究者を育成することを目的としている。この目的を達成するため、平成25年度は新任教員が担当する授業を含め、新たに6つの科目を開設し、カリキュラムの拡充に努めた。また、前年度から引き続き学生全員に対し、研究・教育分野においてリーダーシップを発揮するための重要な知識と技能を培うためのプロフェッショナル・ディベロップメント科目の提供や、博士論文研究前トレーニングやラボ・ローテーション、アカデミック・メンター割当など、個々の学生のニーズに応じた博士課程プログラムを実施している。「カリキュラム・博士論文委員会」を設置し、学業の進捗状況の確認及び博士論文研究開始のための手続きを管理している。多様な研究分野のニーズに応えるため、広範囲にわたる電子ジャーナル・図書の提供や、24時間の図書サービスを開始するなど、教育研究環境の一層の充実に努めている。学生が自身の研究成果を英語で発表及び議論する能力を培えるよう、学生の国内・国際学会参加を支援している。(26)

a 公表（予定）時期

平成26年6月

b 公表方法

本学ウェブサイトにて公表

③ 認証評価を受ける計画

実施時期について検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (2015年2月公表予定)